

1 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

3Rを推進する廃棄物ゼロエミッション活動を展開しています。

(1) 産業廃棄物

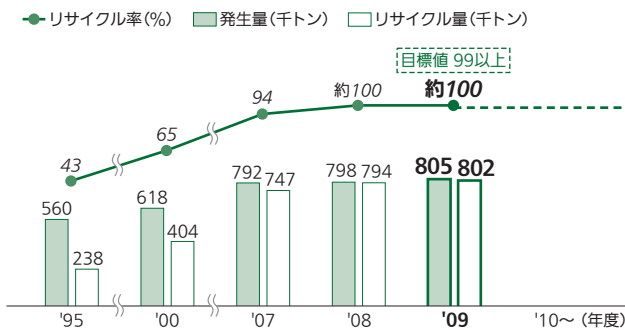
当社が排出する産業廃棄物には、火力発電所の運転に伴う副産物（石炭灰、石こう）や工事に伴う撤去資材などがあります。これらの産業廃棄物については、適切な管理・処理を行うとともに、発生量の抑制（Reduce：リデュース）、再使用（Reuse：リユース）、再生利用（Recycle：リサイクル）の3Rを実践しています。

【産業廃棄物の発生状況（2009年度）】

| | 発生量 (トン) | リサイクル量 (トン) | リサイクル率 (%) | 主なリサイクル用途 | |
|----------|-------------|----------------|---------------|---------------------|----------|
| 石炭灰 | 650,319 | 650,319 | 100 | セメント原料 コンクリート混和材 | |
| その他産業廃棄物 | 重原油灰 | 363 | 363 | 100 | パナジウム回収 |
| | 石こう | 115,475 | 115,475 | 100 | セメント原料 |
| | 汚泥 | 4,532 | 1,981 | 44 | セメント原料 |
| | 廃油 | 1,799 | 1,752 | 97 | 燃料油に再生 |
| | 廃プラスチック類 | 448 | 394 | 88 | 助燃材 |
| | 金属くず | 16,817 | 16,808 | 約100 | 金属材料 |
| | 廃コンクリート柱 | 14,703 | 14,699 | 約100 | 路盤材、建設骨材 |
| | ガラス・陶磁器くず | 173 | 158 | 91 | ガラス製品材料 |
| | 特別管理産業廃棄物 | 103 | 88 | 86 | セメント原料 |
| | その他 | 214 | 138 | 64 | 助燃材 |
| 小計 | 154,627 | 151,856 | 98 | | |
| 産業廃棄物総合 | 804,946 | 802,176 | 約100 | | |

(注) 四捨五入のため合計値が合わないことがある。

【産業廃棄物の発生量とリサイクル率】



a 発生量の抑制（リデュース）への取組み

発電所では、発電設備の保全リスク管理を徹底しており、これに基づく適切な工事計画の策定・実施により、廃棄物の発生量抑制に取り組んでいます。

b 再使用（リユース）への取組み

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能、品質を有しているか等を適正に判断し、再使用しています。

【配電用資機材の再使用状況（2009年度）】

| | 撤去数※ A | 再使用数 B | 再使用率 B/A (%) |
|------------|-----------|-----------|-----------------|
| 柱上変圧器(台) | 25,472 | 25,472 | 100 |
| 柱上ガス開閉器(台) | 1,640 | 1,640 | 100 |
| 低圧電力量計(個) | 797,364 | 795,623 | 約100 |
| コンクリート柱(本) | 7,828 | 7,828 | 100 |
| 高圧線(km) | 772 | 772 | 100 |
| 低圧線(km) | 1,659 | 1,659 | 100 |

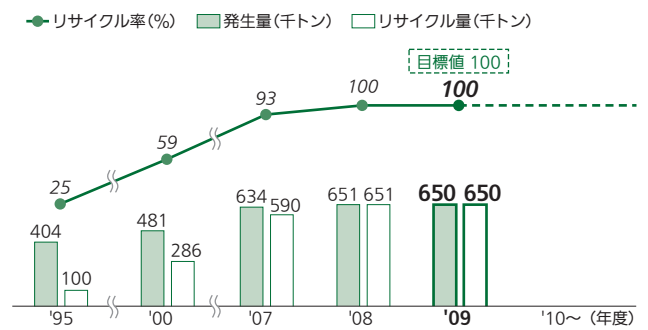
※:旧仕様・型式等により、再使用できないものや修理対象外のもの除く。

c 再生利用（リサイクル）への取組み

2009年度は、発生した産業廃棄物約80万トンのほぼ100%をリサイクルしました。

なお、産業廃棄物の大部分を占める石炭灰については、石炭灰の特性を活かしたセメント原料やコンクリート混和材などへの有効利用を行っており、100%リサイクルしています。

【石炭灰の発生量とリサイクル率】



私の環境アクション

長崎支店 長崎営業所
配電総括グループ
もり ひで き
森 英樹



リサイクルに近道なし!

長崎営業所のある長崎電気ビルには、支店・電力所・営業所の3事業所があり、共同の産業廃棄物置場を長崎営業所が一括して管理しています。

廃棄物のリサイクルを確実に実施するためには、分別の徹底が不可欠です。ゼロエミッション活動開始当時は、分別の不徹底などが見受けられましたが、最近では各事業所員の環境意識も高まり、私たちの手間も削減されてきました。

それでも、配電関係廃棄物のリミッターや自動点滅

器などは、手作業で分解・分別するため、苦勞しています。しかし、「リサイクルに近道なし」という気持ちで、今後も所員一丸となって分別廃棄を続けていきたいと思っています。



産業廃棄物置場



分解・分別作業の様子

- 循環型社会
- ゼロエミッション
- 3R
- 産業廃棄物
- リサイクル率
- 石炭灰
- 石こう
- 重原油灰
- パナジウム
- 汚泥
- 特別管理産業廃棄物
- 柱上変圧器
- 保全リスク管理
- 柱上ガス開閉器
- リミッター
- 自動点滅器

ステークホルダー
のご意見

限りある資源を大切にするために、会社全体で取り組んでいることに感心した。(主婦)

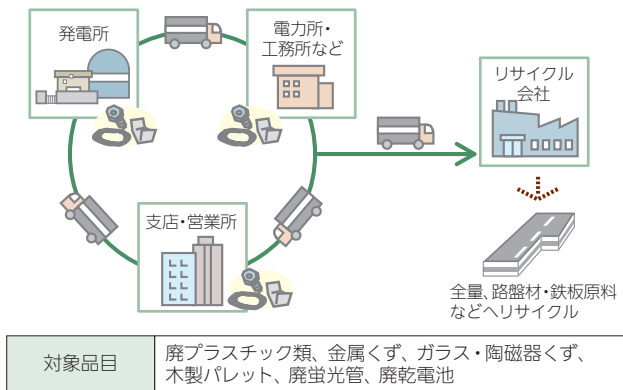
d 産業廃棄物の共同回収

全社的かつ恒常的に発生している産業廃棄物については、対象品目を定め、複数の事業所を一括回収のうえ全量リサイクルする「共同回収」を行っています。

2009年度は、廃乾電池を回収品目に追加するとともに、輸送面での効率化により、更なる環境負荷の低減を行いました。

今後も、効率的なゼロエミッション活動を展開していきます。

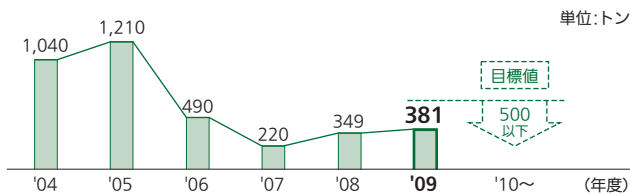
【共同回収の流れ】



e 産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制

2009年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、共同回収の的確な運用等により381トンに抑制し、目標である500トン以下を達成しました。

【産業廃棄物の社外埋立処分量】

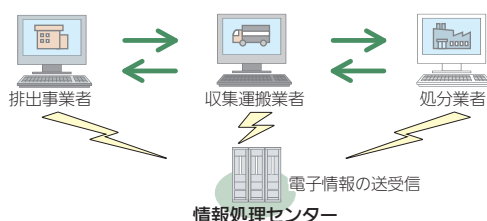


f 電子マニフェストシステムの導入検討

産業廃棄物処理におけるコンプライアンスの確保や事務処理の効率化などを目的に、電子マニフェストシステム[※]の導入を検討しています。

※:マニフェスト(産業廃棄物管理票)情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターを介したネットワークでやりとりするシステム。

【電子マニフェストシステムの仕組み】



- ステークホルダー
- コンプライアンス
- 一般廃棄物
- グリーン調達
- 環境配慮製品
- グリーン製品

(2) 一般廃棄物

当社で発生する一般廃棄物には、古紙等のオフィス活動に伴うものや発電所の貝類、ダムの流木などがあります。これらの一般廃棄物についても、適切な管理・処理を行うとともに、3Rを実践しています。

【古紙などの一般廃棄物発生状況(2009年度)】

| | 発生量(トン) | リサイクル量(トン) | リサイクル率(%) | 主なリサイクル用途 |
|------|---------|------------|-----------|-----------|
| 古紙 | 1,390 | 1,390 | 100 | 再生紙 |
| 貝類 | 162 | 147 | 91 | 肥料 |
| ダム流木 | 2,082 | 2,082 | 約100 | 敷きわらの代用品 |

古紙のリサイクルについては、取組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙の一部は、グループ会社の九州環境マネジメント(株)で、当社のロゴマーク入りのコピー用紙、紙ひも、トイレトーパーに再生されています。



回収した古紙で作った製品

2 グリーン調達の推進

製品等の調達の際は、まずその必要性を十分に精査の上、環境にやさしい製品等の調達を図ることを定めた「グリーン調達制度」を2002年度から導入し、取引先企業の皆さまとも協働して、製品等のグリーン調達に努めています。

詳細は九州電力ホームページ
企業情報 > 資材調達情報 > グリーン調達制度のご紹介

(1) 汎用品(事務用品等の市販品)

汎用品については、当社購入基準(個別ガイドライン)に適合した環境配慮製品を原則購入することとしており、2009年度のグリーン調達率[※]は99%となりました。

※:購入した汎用品に占める環境配慮製品の割合(環境配慮製品のある品目が調達率算定の対象)。

(2) 電力用資機材

お取引先から応募いただいた製品等の情報・提案について、特に良好と認められるものを当社の「グリーン製品」として指定し、社内外に公表するとともに、積極的な調達を行っています。

(3) グリーン取引先

積極的に環境活動に取り組まれている取引先企業の皆さまを「グリーン取引先」として指定し、当社ホームページに企業名を掲載させていただくとともに、見積参加機会の拡大等に配慮しています。2009年度は新たに18社を指定し、合計で242社となりました。